

朝明中学校通信
(校長便り)

和 学 鍛

H27.7.1 (水)
第6号

「鍛える」について

唐突ですが、朝明中学校の周りには立派な田んぼが広がっています。その田んぼが、最近いつもと様子が違うにお気づきでしょうか。何が違うのでしょうか？

それは、普段、水がついている田んぼに、今は水がついていない田んぼが多いことです。不思議に感じられた方もいるのではないのでしょうか。私も子どものころ不思議に思い父親に聞いたことがあります。すると答えはこのようなことでした。

「田植えをして2か月もたつと、稲は株（かぶ）を増やしてくる。この時期、敢えて水を十分与えない。すると稲は成長がやや抑えられるが、それによって稲は鍛えられる。その後、以前のように水を与えられ始めると、たくましくなった稲は豊かな穂を出してくるのだ」と。

「鍛える」といえば、刀も鍛えると言います。日本刀は、原料の鉄を高温で熱して、右の写真のように叩きます。そして、伸びきった鉄を折り返し、また叩く。この作業を続けているうちに、鉄にはたくさんの層ができるとともに、不純物が取り除かれ、折れにくく強度の高い鉄になっていきます。このような過程を経て、切れ味鋭い日本刀が作られます。この過程は、鍛錬（たんれん）と呼ばれています。



【「全国移住ナビ」HP から】

子どもたちも、いわゆる鍛錬によって成長していきます。学校における鍛錬とは、学力・技術等の場合は授業、体力の場合は体育や部活動でのトレーニング、そして心の場合は仲間との関わりではないかと思えます。

そして、これまでの鍛錬（努力）の成果を発揮する場面の一つが、7月18日から始まる中体連三泗地区予選大会です。期末テストが終わり、夏休みに向けて運動部に所属する生徒、とりわけ3年生は、最後の大会に向け気持ちが高ぶってきます。これまで、校訓「和・学・鍛」のもと、鍛えてきた体力・技術・チームワークを存分に発揮して、中学校生活の重要な一部であった部活動を心に刻んでほしいと願っています。

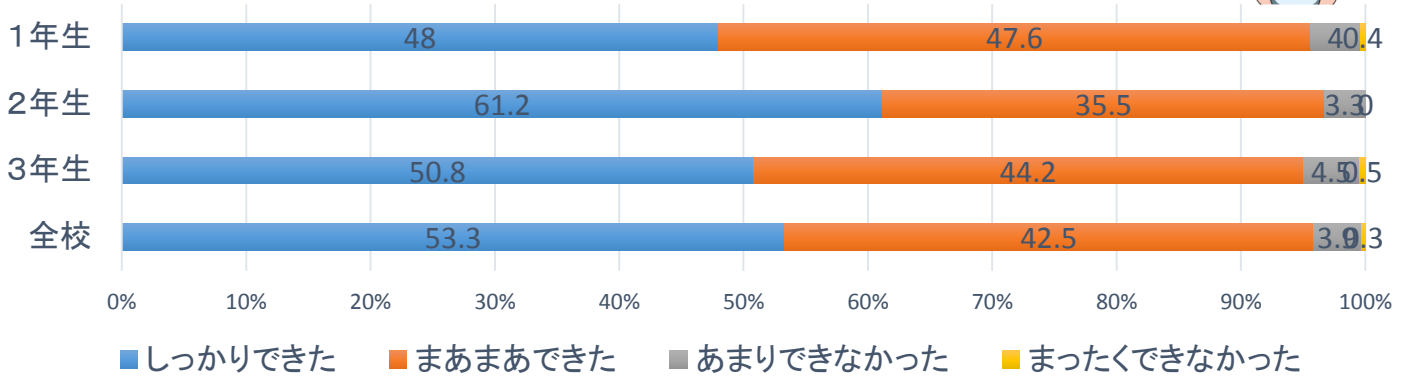
「あいさつアンケート」の結果

本便りの第1号でもお伝えしましたように、今年度も学校生活の中で大切にしていきたいこととして、「校歌」「挨拶」「時間」「整頓」の4つをあげ、その充実を生徒に呼びかけています。その一つの「挨拶」について、6月末にアンケートを実施しましたので、その結果が次のようになりました。

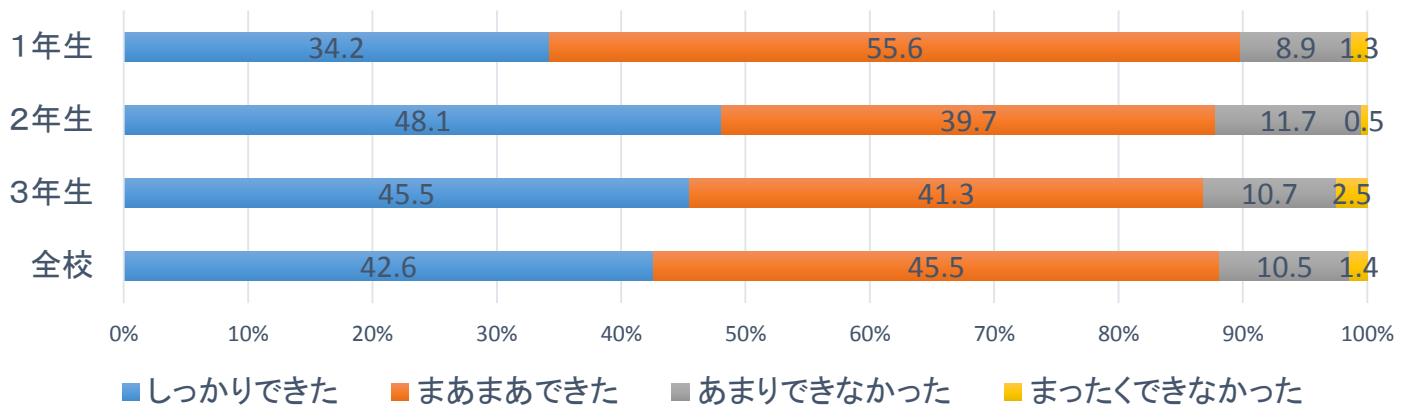
※裏面に続きます。



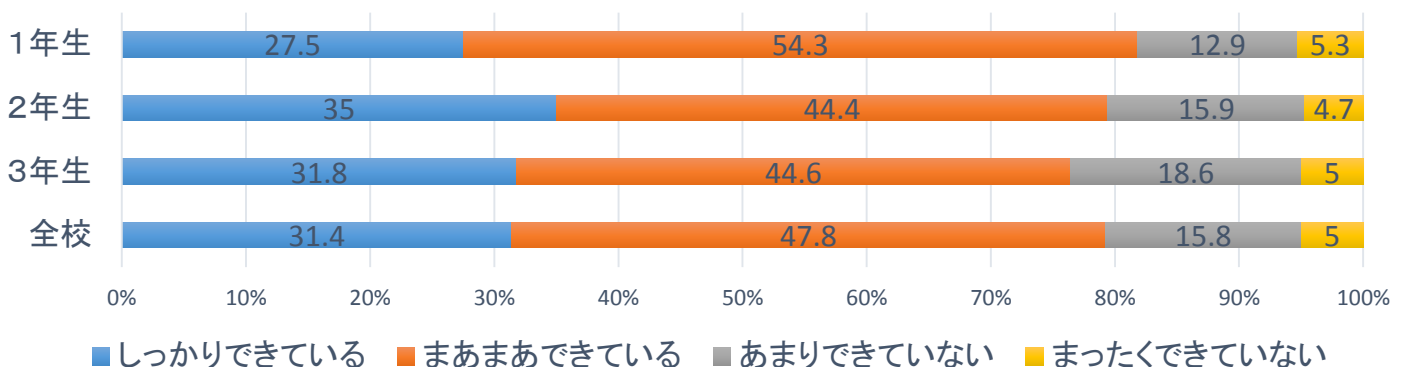
声を出した(声の伝わる)あいさつができましたか？



相手の顔を見た(目と目が合った)あいさつができましたか？



笑顔で(心をひらく)あいさつができましたか？



上のグラフからも分かるように、概ね挨拶はできているように思います。ただ、下段の「笑顔での挨拶」は、一番低いポイントとなりました。挨拶は、人間関係を円滑にしたり、コミュニケーションを高めたりするために大切な行為ですが、「促されるから」「指導されるから」という気持ちが強く働いて、笑顔が伴わなくなってしまったのかもしれない。

生徒会も一生懸命に取り組んでくれていますので、今後は「挨拶って気持ちいいなあ」と実感できる生徒がより増えることを期待したいと思います。

※「和学鍛」はホームページにも掲載いたします。